

題 名	平成 27 年度あま市立学校給食センター運営委員会議事録【第 1 回】	
日 時	平成 27 年 7 月 2 日(木)午後 2 時～	
開 催 場 所	あま市本庁舎 3 階 特別会議室	
出 席 委 員	(教 育 委 員 長) 堀江 徹二郎 (教 育 長) 松永 裕和 (宝 小 学 校 長) 遠山 茂和 (正 則 小 学 校 長) 山内 潔 (甚 目 寺 南 小 学 校 長) 大友 康法 (美 和 中 学 校 長) 山中 仁 (美和東小 P T A 代表) 宮地 順子 (甚 目 寺 南 中 学 校 長) 村井 清彦 (宝 小 P T A 代 表) 鬼頭 利彦 (正 則 小 P T A 代 表) 山本 忠行 (甚 目 寺 南 小 P T A 代 表) 南谷 好昭 (七 宝 北 中 P T A 代 表) 吉田 行広 (美 和 中 P T A 代 表) 後藤 政俊 (甚 目 寺 南 中 P T A 代 表) 鈴木 貴幸 (保 育 園 代 表) 菱田 洋子	
欠 席 委 員	(七 宝 北 中 学 校 長) 中野 義彦	
事 務 局	(教 育 部 長) 三浦 和己 (学校給食センター課長) 木下 誠 (七宝学校給食センター所長) 鶴見 信夫 (甚目寺学校給食センター所長) 立松 和利 (美和学校給食センター課長補佐) 後藤好和 (甚目寺学校給食センター主事) 横井 唯 (美和学校給食センター栄養教諭) 玉谷 里美 (七宝学校給食センター学校栄養教諭) 森田 咲紀 (甚目寺学校給食センター学校栄養教諭) 瀬戸 仁巳	
傍 聴 人	0 人	
議 題	1. 委員長・副委員長の選出について 2. 平成 27 年度学校給食施設の概要について 資料 1(PDF) 3. 平成 27 年度食物アレルギー対応状況について 資料 2(PDF) 4. 学校給食費について 資料 3(PDF) 5. 平成 27 年度食に関する指導(授業と保護者への啓発)について 資料 4(PDF) 6. 平成 27 年度食に関する指導(給食時)について 資料 5(PDF) 7. 平成 27 年度献立・衛生管理について 資料 6(PDF) 8. 平成 27 年度保育園給食について 資料 7(PDF) 9. その他	

1. 委員長・副委員長の選出について

事務局説明

<主な質疑応答>

(委員)

事務局案はありますか。

(事務局)

委員長 堀江徹二郎委員、副委員長 大友康法委員で提案
全員異議なしで決定

2. 平成 27 年度学校給食施設の概要について

事務局説明

<主な質疑応答>

質疑なし。

3. 平成 27 年食物アレルギー対応状況について

事務局説明

<主な質疑応答>

(委員)

アレルギー対応は年々、増加していますか。

(事務局)

平成 27 年度は、前年度と比較すると 3 地区で 27 名の増加となっています。

4. 学校給食費について

事務局説明

<主な質疑応答>

(委員)

未納金額には、昨年、在学した人の分ですか。

(事務局)

卒業した人も全部含めた金額になります。

(委員)

年々、増加していますか。

(事務局)

微増の状況です。

(委員)

給食費を支払ってもらうために今後、どんな方法を考えていますか。モラルの問題もありますし、ニュースで、他市では、その子の給食をとめるということも出ている。

その関係で、市の負担や他の子の負担も出てきてしまうので、今後の対策をどう考えていますか。

(事務局)

現状は、卒業者については、事務局から督促状を送付し、応じない場合は、2回の催告状を送付しています。それでも応じない場合は、自宅まで徴収に出向きます。

現状は、不在であったりします。また、一度では支払いができない方については、分納で納付される方もみえます。

今後の措置としては、未納が続く場合は、給食をとめるということも考えなければいけないと思います。

ただし、色々なことを加味しながら、今後、未納が少なくなるよう努力していきたい。

(教育長)

このことについて、PTAの協力のもと、親の意識を変えていかないといけない。いじめにつながってはいけない。

この給食費の未納は、他市と比較しても多いと思う。また、学校によっても違いがあります。

未納の家庭の事情を各学校で補助する制度を説明し、少なくしていきたい。

(委員)

納付ができるのに納付しない理由はあるのですか。

(事務局)

全員に聞いているわけではないので、理由はわかりません。

卒業生のみに対応で、在校生については、学校での対応をお願いしています。

(委員)

未納者の人数をあま市で一本化してあるが、アレルギーは、3地区ごとで記載してあるのはなぜですか。

(事務局)

アレルギーの対応が違うからです。

(三浦部長)

給食費の値上げについて補足説明

(委員)

市が給食を管理していくうえでの1食分の単価がどこまで妥当であるのか、またあま市の物を取り入れることで値上がっているのか。

今後、給食を提供していくなかでやっていくのか。

(事務局)

物資については、毎月、物資選定委員会で、味・値段・地産地消の食材を選んでより安全安心な給食を提供するには、給食費の値上げは必要と考えます。

5.平成 27 年度食に関する指導（授業と保護者への啓発）について

事務局説明

<主な質疑応答>

質疑なし

6.平成 27 年度食に関する指導（給食時）について

事務局説明

<主な質疑応答>

(委員)

残菜はどれくらいありますか。

(事務局)

センター毎で違いはあるが、小学校で2%位、中学校で5%位です。

7.平成 27 年度献立・衛生管理について

事務局説明

<主な質疑応答>

(委員)

意見として献立に郷土料理を考えていただきたい。

8.平成 27 年度保育園の食育について

事務局説明

<主な質疑応答>

質疑なし

9.その他

<主な質疑応答>

(委員)

美和中について異物混入が続いたので、今後の対応をどう考えていますか。

(事務局)

異物混入については、納入業者へ改善させるための対処法を考えさせ、安全安心な給食を提供していきたいと考えています。

【閉会時刻：午後 3 時 11 分】